

ビルクリーニング競技課題

◎一般的な注意事項

共通事項

- 1 当日のゼッケン番号により、課題1の「カーペット床清掃」から開始する競技者と課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」から開始する競技者に分かります。
- 2 選手は、課題1と課題2の両方を実施します。また、各課題は時間が定められています。
課題1：7分で打ち切り 課題2：10分で打ち切り
- 3 課題1は残り2分で、課題2は残り3分でそれぞれ合図を出し、上記の規定時間を超えたところで打ち切ります。打ち切りとなった競技者は競技委員の指示に従って下さい。
- 4 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 5 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の5項目から審査し、加点方式によって行われます。
- 6 作業に適した服装をしてください。
- 7 作業開始の指示は競技委員が行います。
- 8 作業ごとに入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
- 9 「始めます」、「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」、「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。

◎課題1：カーペット床清掃

- 1 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画します。
- 2 カーペット床での真空掃除機による吸塵作業です。
- 3 床のゴミは、シュレッダーで裁断したものを50mℓ程度まいたものとしします。
- 4 幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
- 5 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 6 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎課題2：弾性床清掃及び机上清掃

- 1 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画します。
- 2 床材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面としします。
- 3 ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
- 4 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
- 5 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
- 6 乾式モップ用クロスは、競技者が作業前に取り付けて点検してください。
- 7 床のゴミは「おがくず」とし、50mℓ程度をまいたものとしします。
- 8 幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
- 9 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 10 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎資機材一覧表

1 各競技場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型リンレイRDエコ2型	1台	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
イス	パイプ式おりたたみ	1脚	
ゴミ箱	角型	1個	

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
作業標示板		1個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
ラグ（モップ房）	260g 白色	1枚	
小型ぼうき	30cm幅用	1本	
乾式モップヘッド	63cm	1枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個	
タオル	無地 水拭き用（青色）1枚 から拭き用（白色）1枚	2枚	
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
イス	パイプ式おりたたみ	1脚	
ゴミ箱	角型	1個	

2 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着（上・下）		1着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1足	

（注意） 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

【課題1 カーペット床清掃】

時間：7分 作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	- 作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は、資機材一覧表を参照のこと) - 真空掃除機のウォンド・吸い込み口は、事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足無く準備されているかを点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち、「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードをはずし、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し、入室する。	声を出して申告する。
除塵 (真空掃除機)	①真空掃除機を使用し、外から入り口を吸塵した後、作業場所へ入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。 ③ゴミ箱を移動して吸塵する。 ④イスを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、元にもどす。 ⑤前進しながら吸塵作業をする。 ⑥作業が終了したら掃除機を室内より出して、プラグを抜く。	- ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 - 吸い込み口を床に強く打ちつけない。 - 本体は手で持って移動する。 - プラグを持って抜く。	- ゴミはシュレッダーで裁断したものを、50ml程度まいている。 - 掃除機のコードを持って抜かない。 ※「カーペット床清掃作業手順」参照
点検	指差し及び目視点検を行う。	ゴミの取り残しがないか点検を行い、あれば処置する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」、「終了しました」等の意思表示を行う。	総合：成否・安全・やりやすさを考えて行ったか

【課題2 弾性床清掃及び机上清掃】

時間：10分 作業仕様1-1

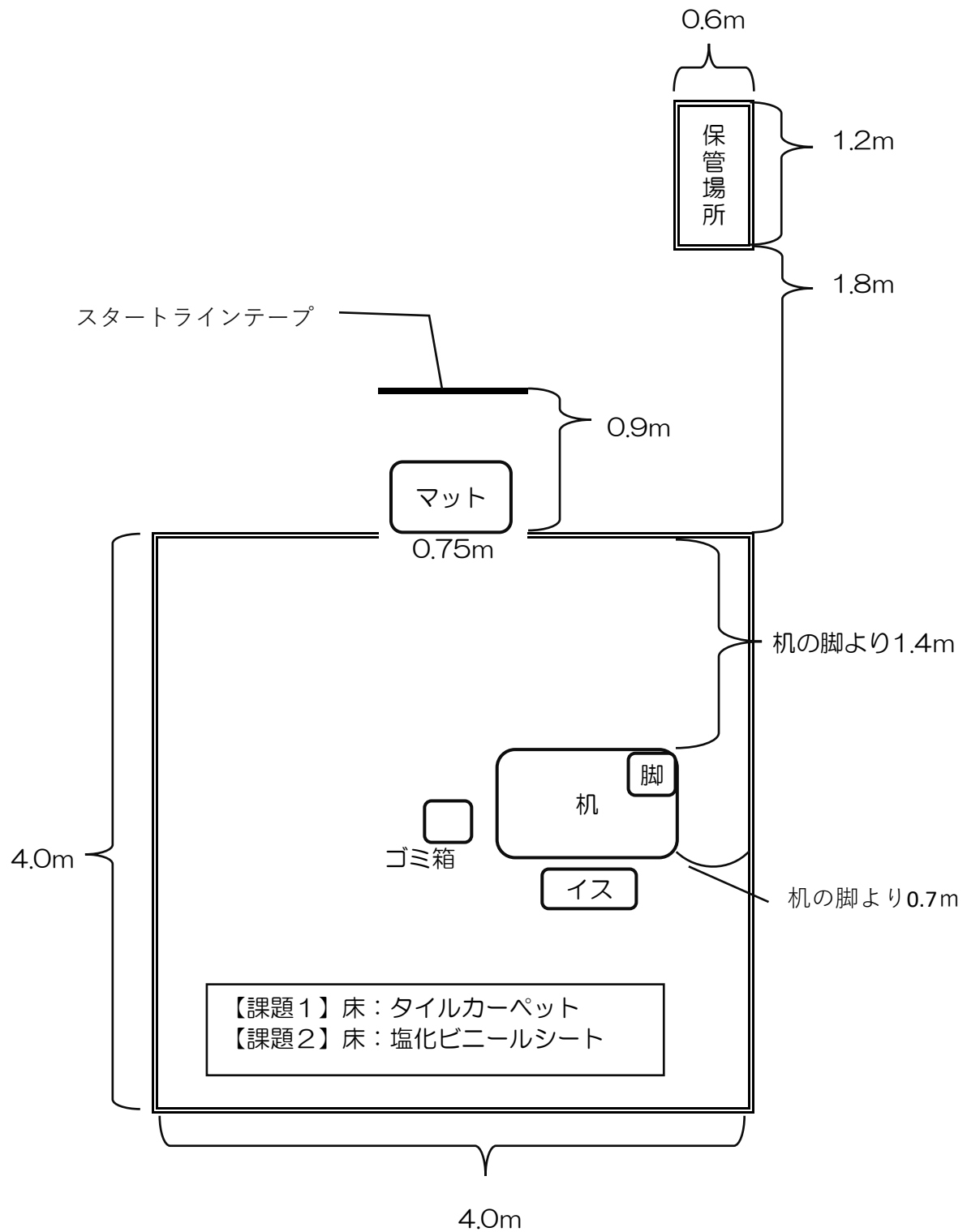
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は、資機材一覧表を参照のこと) ①柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③ ①、②は事前に準備する。	・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 ・柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立つ。 ①目から鼻のあたり ②正しく装着したか
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ②作業標示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	入口左側・幅木枠のコーナー部分(向き注意・幅木の延長線から出ない)
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミ回収 (3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上にあげる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。	・なるべくイスの足側はコートの内側にする ・袋ごと取って新しい袋をセットしたか
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 ④ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスヘッドを外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	・ゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。 (赤印をつけてある) ・ヘッドを床から離さない。 ・使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。 ・ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。	・ゴミはおがくすを50mℓ程度まいている。 ・点検の際に声をださないこと。 ・乾式モップのセット、除塵手順は正しいか ・塵の上を歩かないで有効な重なり幅を保つ ・無理のない姿勢で作業動作もスムーズか(柄の角度が正しいか) ・机の下を確認し取り残しが無い(自在箒と塵とりの取り方) ・ダスタークロスは汚れ面を内に折り込んだか ※「乾式モップ作業手順」参照

課題2

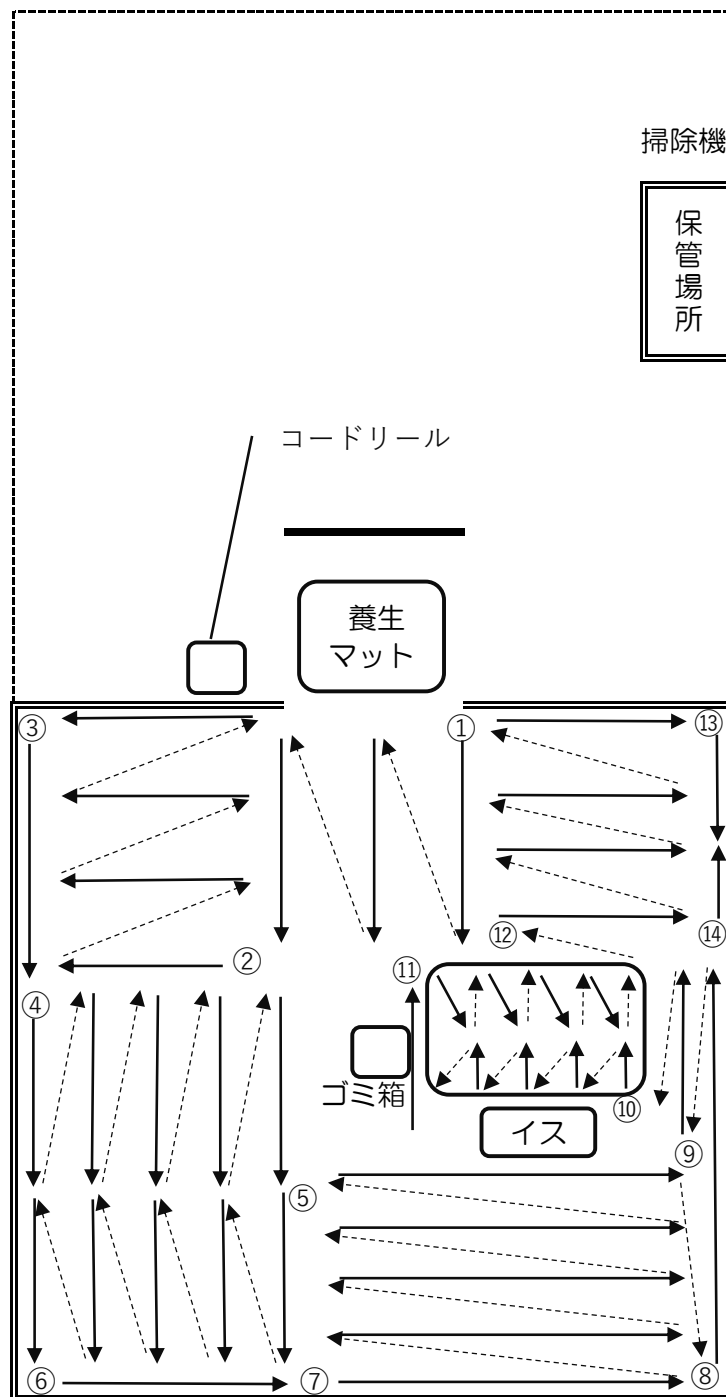
作業仕様1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き (モップ)	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとおきの足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	・ラークをセットしたか、使用済みラークを外したか（必ずマットの上で） ・モップ作業手順と幅木側、机周りでの動作は正確か ・出入口、コーナー、机周りはラークに手を添える（幅木から1cm以上モップが離れない） ・拭き幅の中央に立ち、横一直線に拭いているか ・幅木側ではモップは裏返さない 拭き残し、拭きむらが無い、無理のない姿勢で作業動作もスムーズか（柄の角度は正確か） ※「 <u>水拭きモップ作業手順</u> 」参照
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下ろす。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。（水拭きと同様に作業を行う）	拭き残し、拭きむらのないようにする。	①実施したか ②外周から作業したか、内側の作業に入る時タオルの面を変えたか ③正確に出来たか ④実施したか ⑤実施したか ※「 <u>机上拭き作業手順</u> 」参照
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		作業標示板を元の場所に戻したか
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	総合：成否・安全・やりやすさを考えて行ったか

【課題1 及び課題2】 標準配置図（モデル）



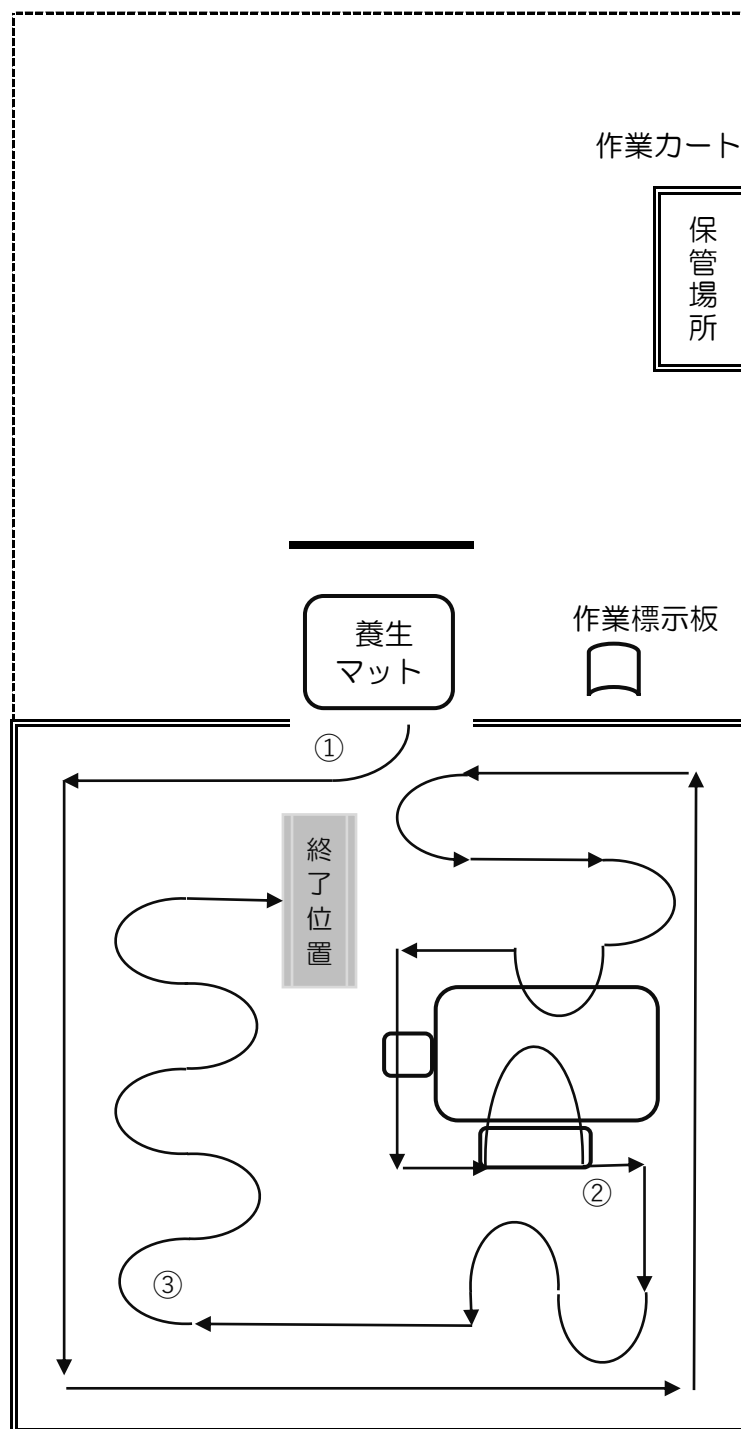
【課題1 カーペット床清掃】作業手順



注： 作業の進行①→⑭

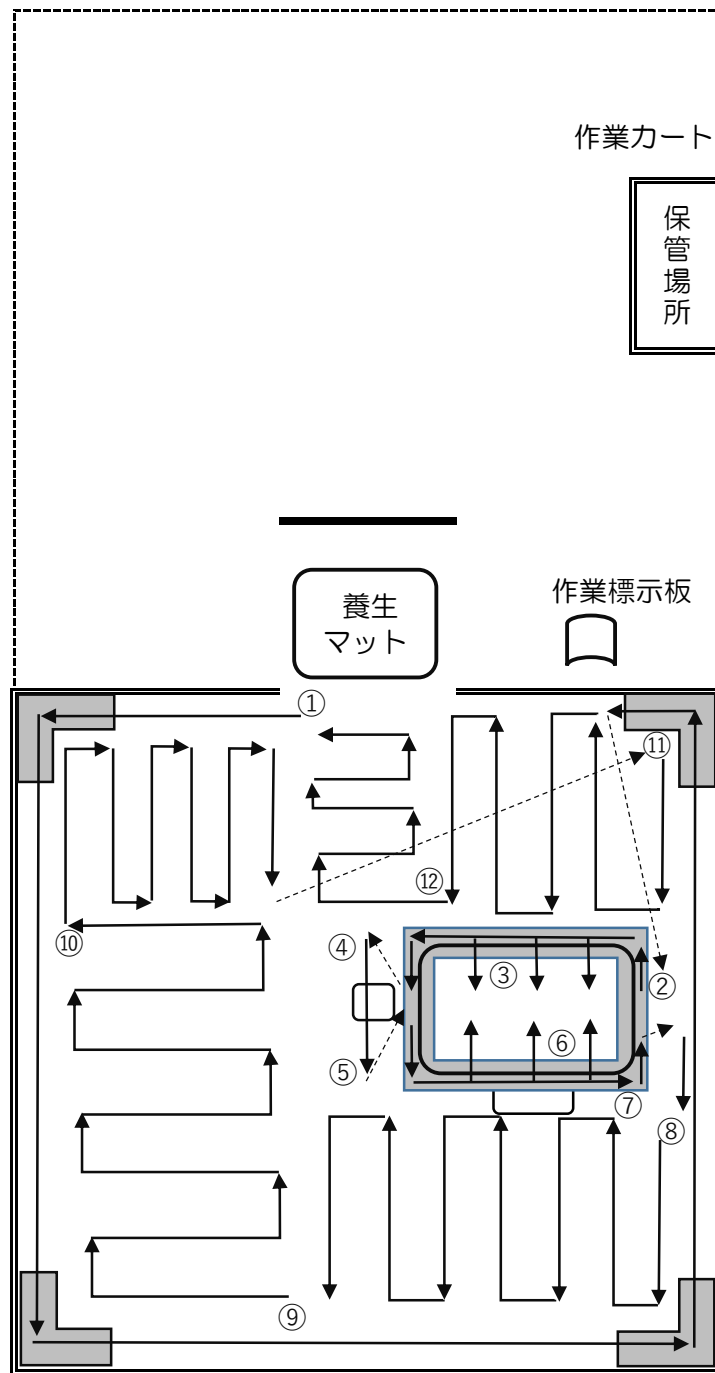
- 矢印は参考例であり、吸引回数等を示すものではありません。
- 例えば①の作業を1回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。
- ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引してください。

【課題2 弾性床清掃】 乾式モップ作業手順



注： ・矢印は参考例であり、乾式モップのヘッドを振る回数を示すものではありません。

【課題2 弾性床清掃】 水拭きモップ作業手順



注：  印は手を添えて拭く箇所を示す。

・矢印は参考例であり、水拭き回数を示すものではありません。

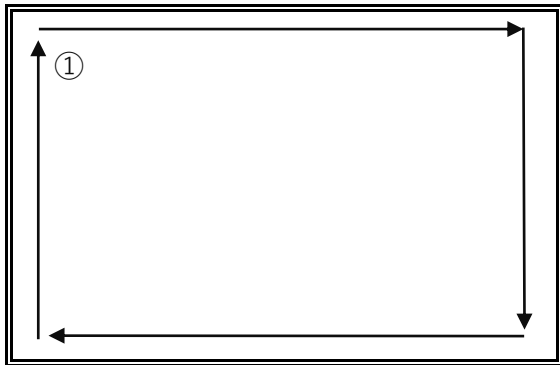
① 幅木側を1周すること。（コーナーは手を添えます）

②～④ 机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

⑤～⑦ 反対側の机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

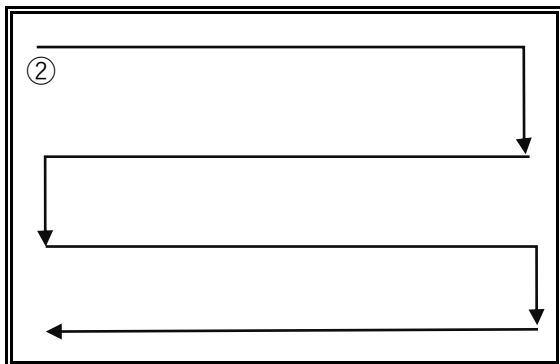
⑧～⑩ スパンを決めて拭き上げる。

【課題2 机上清掃】 机上拭き作業手順



① 四角く、縁に沿って拭きます。

（その際、テーブル、机の縁も拭きます。）

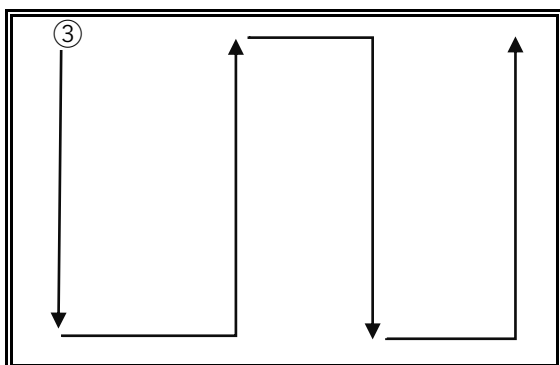


② 横拭き：拭いていない中面を左右に拭き

ます。（このとき、拭きムラの無いように

注意します。また、左右の動きにより、

タオルの往復の回数は異なります。）



③ 縦拭き：拭き残しがないように中面を

上下に拭きます。（このとき、拭きムラの

無いように注意します。また、上下の動き

により、タオルの往復回数は異なります。）

◎ から拭きも同じように行います。

注： ・作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。

・左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。